

第80号 2016年6月23日

はばたく中小企業300社(経済産業省)「ものづくり わざ」部門受賞

小泉内閣の時発足した「元気なモノ作り中小企業300社」が、今年度から新たに「はばたく中小企業300社」として企業選定が進められ、当社が「ものづくり わざ」部門で受賞の栄に浴しました。

世の中になくてはならない会社、社員の生活の基盤となる会社を立ち上げ、確固たる持続性の基盤を築くには創業者と創業者と志を同じくする多くのスタッフの燃える情熱とその継続が求められます。

私は、ゲンの創業者 所 秀雄さんから乞われ、養鶏設備とは全く関係のない石油化学業界での10年のサラリーマンを経て、所さんと折半出資の会社をスタートさせました。云ってみればゼロではなくマイナスからのスタートで、ニッチ市場、エッグファームオートメーションナンバーワンの現在の地歩、プラットフォームと骨格を築くのに苦節40年余の歳月を要しました。

2016年新年メッセージで述べた通り、これからはこのプラットフォームに健全な利益を積み上げ、ニッチトップ超優良会社を目指す第二の創業期を迎えています。

強力な利益エンジンは目先の細かい計算(勿論これも大切)ではなく、世の中に供給している当社製品がいかにも必須であり、いかに競争他社製品に対し性能品質ベースコスト競争力を有しているかにあります。自動化による破卵究極ゼロの集卵機、30年の技術蓄積と経験を背景とするファームコンピュータシステム、業界に先駆け実用化その後改善を続ける新トンネル換気、鶏舎廃熱を活用した鶏糞有機肥料化等々、50余の特許と併せ、当社製品の性能は競争他社製品を一步リードしています。

今回の受賞は、当社第二の創業期に対するエールと受け止め、ニッチトップ超優良会社を目指し、当社の強みに自信と誇りを持ち、改善すべき課題に、常に前向き志向で、評論を排し、熱意と気迫あふれる行動を大切に組み込んでいきたいと思えます。

表彰状と楯



300社紹介当社ページ

株式会社ハイテム

岐阜県各務原市

海外

地域

わざ

人材

ものづくり

サービス

養鶏場の合理化に寄与する最新設備エッグファームオートメーションで、中国、東南アジア諸国への展開に成功

- 国内トップクラスの養鶏設備技術を持ち、国内市場だけでなく中国、東南アジア市場での活躍にも期待が持てる
- オートメーション技術のノウハウ・強みを活かして様々な新事業を展開する着眼力・発想力に優れる

企業基本情報

所在地	岐阜県各務原市テクノプラザ2-10
電話/FAX	058-385-0505/058-385-1230
URL	http://www.hytem.com
代表者	安田 勝彦
設立	1972年
資本金	9,000万円
従業員数	42名(グループ:100名)



会社概要

養鶏機器のトップメーカーであり、集卵システム、給餌システム、ケージシステム等、基幹事業であるエッグファーム向けのオートメーションで国内6割のシェアを誇る。タマゴを環境に優しく、国際競争力あるコストで生産するための設備供給に、日々技術開発に励み、物価の優等生である国内外のタマゴの生産を力強く支えている。

国内の最新鋭エッグファーム



革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

最新設備の開発を通じ、養鶏場経営の合理化に寄与
エッグファーム向け最新設備により、破卵率の低減、各工程の自動化による労務費等ランニングコストの低減を実現し、養鶏場経営の合理化に寄与してきた。特に他社との差別化に繋がる独自のシステムとして、早くから24時間リアルタイムコンピュータシステムの養鶏現場への活用積極的に取り組み、大型化が進むエッグファームの精密管理、成績向上をサポートしている。

中国、東南アジア諸国への設備導入に成功

2008年9月に、同社の製造部門を担う工場を中国天津に設立、ファブレス(委託生産)体制から自社工場体制に移行し、コスト競争力の強化を図っている。なお、同工場は中国市場への直販も行っている。また、中国以外の東南アジア市場については韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピン、バングラデシュ、インドの7カ国に1社ずつ総代理店を設置し、同社設備は人口比例の中、世界人口の6割以上を占めるアジアを中心に海外販路開拓を行っている。
これらの取組の結果、これまでに中国で10数カ所、東南アジア10カ所の養鶏場に設備を導入している。長期的には、高いシェアを有する日本市場で売上の1/3、中国10%シェア(中国の10%は日本の100%量)、東南アジア・インド10%シェアで、それぞれ1/3の売上構成を目指し、我が国の少子高齢化に全く影響を受けない企業基盤を築きつつある。

稼働中のエッグファームオートメーション



革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組のポイント

着眼力・発想力を活かして様々な新事業を展開

同社では、例えば、現在は空気中に放散されている鶏の廃熱を活用し鶏糞を乾燥させペレット化する設備を開発し、鶏糞処理の省エネルギー化、低コスト化に貢献している。
他に、肥料化過程で発酵を経ずに土壌で発酵させる乾燥鶏糞に着目し、同社設備を導入するユーザーと連携し他社にない売れる有機肥料“乾糞ペレット”の普及に取り組んでいる。

乾糞ペレット



表彰式での林経済産業大臣挨拶



「ものづくり わざ」部門 受賞者記念撮影
前列中央が大臣、前列左は審査員、前列右端が私

